

岡田重美議員が代表質問

各派による代表質問

開会中の三月議会は、2月24日各会派による代表質問が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、岡田重美議員が①国政の焦点となっている課題について市長の政治姿勢、②岩永市政の課題について、③市長の施政方針と新年度予算について、の大きく三項目について市政の問題点を

を質すとともに、要求実現を迫りました。岡田議員は、先の総選挙で自民党が圧勝し、数の力で憲法改正や国是である非核三原則を見直す動きを示していることについて、岩永市長の所見を求めました。非核三原則見直しと憲法9条についての岩永市長の答弁骨子は左の通り。

高市首相が狙う 非核三原則見直しと憲法9条改正… 岩永市長の認識を問う

非核三原則の堅持・法制化について

今から約80年前の夏広島での惨禍から、唯一の被爆国として核兵器のない平和な世界をめざし、今日まで歩み続けてまいりました。本市においても平成17年、「非核平和都市宣言」を行い、そのなかで非核三原則を堅持するよううたっており、そのなかで核兵器の廃絶を強く訴え、世界の恒久平和の実現を訴えてまいりたいと考えております。法制化については、国会においてしっかりと議論をされたうえで、適切に判断されるべきであると考えます。

憲法9条を活かした政治こそ大事について

憲法9条につきましましては、戦争の放棄・戦力不保持・交戦権の否認が規程されており、我が国が戦後の国際社会の中で、平和国会として信頼され、長きにわたって実績を重ねていくプロセスの中で、憲法9条の果たしてきた役割は、非常に大きなものであると考えております。一方で国際情勢が不安定になる中、今後の日本の安全保障のあり方については、国会で十分議論をされるべきと考えております

岡田議員は、「核兵器を持たず・つくらず・持ち込ませず」という非核三原則について、高市首相が見直しを進めようとしていることについて岩永市長の認識を質したところ、上記のような所見を述べられました。また憲法9条についても、「果たしてきた役割は大きい」との認識を示されました。

非核三原則の堅持を求める意見書案

高市政権が、これまで国是としてきた「非核三原則」を見直す動きを示しているもとで、「非核三原則の堅持を求

める意見書」を今議会に提案しました。議案提案権を活かして山岡光広議員が提案したものです。最終日に採決です。

自治振興交付金の見直し 山岡光広議員が関連質問

甲賀市は、新年度から、自治振興会・まちづくり協議会のあり方、自治振興交付金を見直します。岡田重美議員が代表質問の中で「①制度が浸透していないのはなぜか。②地域マネージャーの役割が大きい。市としてサポートの強化を。③自治振興交付金見直しの中で、敬老事業は多世代交流事業を促進するとあるが、敬老事業を制限することは受け入れがたい。もっと柔軟に対応を」と求めたことに関連して、山岡光広議員が関連質問に立ちました。

山岡議員は、「交付金は、地域の実情に応じた活動が維持・発展するよう自由裁量の枠を広げることが大事」であることを確認したうえで、「子ども、若者を対象とした幅広い年代への活用を可能とする、ということは敬老事業に使ってもよいとい

う理解でいいか」「商品券や飲食のみに使うのは制限するが、のみでなかったらよいという理解でいいか」について確認。総合政策部長もこの点は認めました。各自治振興会毎の多世代交流事業の算定根拠は、具体的答弁はありませんでした。

山ちゃんの一週間

●…20日(金)は、信楽牧交差点で朝立ち、生活相談・議会準備等。●…21日(土)は、畑耕・草刈り、午後から実務等。●…22日(日)は、庭木の伐採、13時半から草津で滋賀自治体問題研究集会。●…23日(月)は、早朝赤旗配達、13時から、16時から草津で会議。●…24日(火)は、9時半から18時まで議会本会議・代表質問、19時から水口で会議。●…25日(水)は、9時から会場下見、その後ニュース作成、集金活動、確定申告、議会準備等。●…26日(木)は、9時半から議会本会議・議案質疑、議会全員協議会、会派代表者会議、広報部会。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2026年3月1日
第1115号

日本共産党